

# インシデントプロセス法

# 今日の流れ



- 1 はじめに
- 2 インシデントプロセス法とは？
- 3 インシデントプロセス法の手順
- 4 演習
- 5 おわりに

# 1 はじめに

## (1) いろいろな児童生徒への対応

- ・個性豊かな子供たち
- ・様々な家庭環境



## (2) 校内委員会・ケース会議

- ・チーム支援の重要性
- ・外部機関、専門機関との連携

## 2 インシデントプロセス法

### (1) 米国ピコーズ教授提唱の

### 事例研究法

- 参加者が主体的、積極的に研修
- 全員で共有し、その後の実践に役立つ
- 事例提供者の負担減

## (2) インシデントプロセス法とは・・・

「小さな出来事」のこと

○はじめに発端となる小さな出来事を提示  
・・・指導上問題、解決したい行動など

\* 事実だけ・タイムスケジュールを厳守

○参加者が事例提供者に質問し、情報収集  
・・・事例提供者に解決策を提案

\* 事例提供者を非難したり、努力不足を

指

摘したりしない

# 3 インシデントプロセス法の手順

## (1) 第一ステップ

(インシデントの提示)

- ・今の問題を事実のみ話す
- ・事例提供者が行った行動、対応や自分の考えは話さない

## (2) 第2ステップ(事実・情報の収集)

- ・参加者の質問によって、ケースの全容が解明される
- ・参加者は、事例提供者に質問しながら、問題点に関係がある事実を収集する
- ・分からない時には分からないと言う  
(事例提供者)
- ・質問のみに答える(事例提供者)



### (3) 第3ステップ

(解決すべき問題点は何かを  
明確にする)

- 自分なりの事例の全体像を作る
- 問題点を探り整理していく
- 事例提供者は少し離れておく
- 進行係を決めるが、自由トークで進める





## (4) 第4ステップ

### (解決策の立案とその理由を固める)

- ・自分なりの具体的な対応の案を考える
- ・なぜそうするか理由や根拠を話し合う

**\* 事例提供者は、実際の対応や  
その後の経過を発表する**



## (5) 第5ステップ

(ケースから何を学んだかを  
振り返る)

- 事例全体を振り返り、何を学んだかを話し合う
- 事例提供者は感想を話し合う





## 4 演習

第1ステップ(インシデントの提示) 7分

第2ステップ(事実・情報の収集) 15分

第3ステップ

(解決すべき問題点は何を明確にする) 8分

第4ステップ(解決策の立案とその理由) 15分

第5ステップ(振り返り) 5分

## 5 おわりに

☆児童生徒のことは、学校全体  
で考える

☆児童生徒、教師、保護者共に  
よい人間関係づくりを、日頃から  
心がける

